

# 代表質問

代表質問は、新年度の予算を審議する議会において会派を代表して行う質問で、市長の市政執行方針および教育長の教育行政執行方針について、その所信を質すものです。

今回の定例会では5つの会派全てが代表質問を行いました。ここでは、質問および答弁のうち、一人につき一項目を掲載しております。

## 市営住宅の子育て世帯優先枠

民主・市民ネット 板倉 一幸

**質問** 人口減少への対策として、市営住宅において子育て世帯の優先入居枠を設け、支援する考えはないか。

**答弁** 市営住宅においては、3人以上の世帯のため一般とは別に優先枠を設け公募しているが、子育て世帯等の入居希望に対して、十分応えきれないと考えており、今後、優先枠の拡大に努めたい。子育て世帯に特化した入居枠の設定は、整理を要する課題もあり、北海道で整備中の子育て支援住宅への応募状況をみながら検討したい。(市長)

## 地域活性化のための市の施策

公明党 瀬尾 保雄

**質問** この度の国の2次補正予算における、地域活性化に係る国からの交付金の額はどれくらいか。また、どのように使おうと考えているのか。

**答弁** 交付額については、現時点で見込まれる平成20、21年度の総額で、おおよそ59億円程度になるものと考えている。この交付金は、平成20年度の緊急地域経済活性化対策に充てるほか、平成21年度において地域求職者緊急雇用経費や百貨店等検討調査費、雇用環境向上促進費などに活用していきたい。(市長)

## 旧4町村地域の光通信整備

新生クラブ 吉田 崇仁

**質問** 産業や教育面等での地域間情報格差を解消するため、公費負担してでも光通信を整備すべきと考えるが、関係団体に働きかける考えはないか。

**答弁** 光通信の整備は、産業面などにおいて望ましいものであるが、公費の一部負担については、厳しい財政状況の中、全市的な検討が必要と考える。旧4町村地域の情報格差の解消は、非常に重要な問題と考えており、国の補助制度や他の自治体なども調査し積極的に実現の方向に向かうよう取り組みたい。(市長)

## 湯川町との合併記念事業

市民クラブ 北原 善通

**質問** 今年は開港150周年であると同時に、亀田郡湯川町との合併から70年でもあり、これを記念した事業を考えたらないか。

**答弁** 当市では、過去に合併した市町村との周年事業を実施していないことから、市が単独で合併記念事業を行うことは、なかなか難しいものと考えている。しかしながら、当市の歴史を振り返り将来のまちづくりへつなげていくことは、大切なことと考えており、提言について関係団体へも話したい。(市長)

## 委託業務の発注の考え方

日本共産党 高橋 佳大

**質問** 委託業務については、東ねて発注すると、委託費や労働条件に影響が出ると聞いていることから、分割発注が原則の当市のやり方を変えるべきでないと考えるがどうか。

**答弁** 庁舎などの公共施設において、清掃や警備などの業務を一括して委託した場合、経費の節減は図られるが、現在の厳しい地域経済を勘案すると、現時点では、より多くの業者に受注機会が確保されることが重要と考えており、基本的には分割発注を心がけていきたい。(市長)

# 個人質問

個人質問は、市の行政全般にわたって、市長をはじめとする執行機関に対し事務の執行の状況および将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または疑問を質すものです。

今回の定例会では22名の議員が個人質問を行いました。ここでは、質問および答弁のうち、一人につき一項目を掲載しております。

## 派遣職員の給与と補助金支出

民主・市民ネット 福島 恭二

**質問** 函館国際水産・海洋都市推進機構(仮称)へ市職員を派遣し、その給与を補助金として支出することは、違法ではないか。

**答弁** 派遣職員の人件費相当額を補助金等で支出することは、違法との判例があるが、現在は係争中の事案であり、本件のような形態は全国的にも多くの自治体でとられている手法であるため、当面従来の考え方で職員派遣を行い、どういう方法が望ましいか、全国市町会等とも協議、整理した上で対応したい。(市長)

## 民間主導の観光資源づくり

新生クラブ 松尾 正寿

**質問** 「どさんこフェスタinはこだて」は、当市の大きな観光イベントの一つとして育てていく必要があるが、市の支援が不可欠と考えるがどうか。

**答弁** 「どさんこフェスタinはこだて」は、毎年多くの市民や観光客が訪れる地域のイベントとして定着してきており、北海道開拓の文化であるどさんこの啓発、馬とのふれあい体験、さらには観光振興にも寄与しているものと考えていることから、今後どのような支援ができるのか検討していきたい。(市長)

## 和光ビルの空きフロアの活用

市民クラブ 能登谷 公

**質問** 和光ビルの空きフロアに博物館の資料を展示することは、地域の活性化になり、観光客の誘致にも効果があると考えられるがどうか。

**答弁** 和光ビルが立地している駅前・大門地区は、JRや市電、バスなどの路線が集中する交通の拠点であり、市民や観光客も利用しやすい地区であることから、展示施設設置は、中心市街地活性化の面からも効果が期待できる一方、実施に向けては、資料の保存管理等解決すべき課題も多いものと考えている。(市長)